

Ⅱ 特別シリーズⅡ

科学技術  
振興機構 『さくらサイエンスプラン』友情と感激

第144回

東京海洋大学の活動報告



渡辺 学  
(東京海洋大学大学院  
海洋科学系  
教授)

タイの大学院生が日本の水産業  
とそれを支える科学技術を体験

東京海洋大学食品生産科学科ではタイ王国・チュラロンコン大学理学部食品テクノロジー学科と長らく交流を続けており、特に2012年からはタイと日本で交互にジョイントセミナーを開催しています。第6回となる今回は日本での開催となり、一昨年に続き、さくらサイエンスプラン(SSP)の助成を受け、お陰様で充実したセミナーとなりました。

2018年1月28日から2月3日の7日間、10名の大学院生および大学生、1名の教員を招へいしました。初日と、最後の2日間は品川の東京海洋大学にて見学や実習を行いました。メインイベントは1月29日から2月1日に掛けて行われた、気仙沼、石巻視察旅行です。気仙沼、石巻は元々日本有数の大漁港ですが、東日本大震災で甚大な被害を受け、その復興の過程で最先端の科学技術を取り入れられています。タイも水産業が盛んな国なので、日本の最新の水産業を知ってもらうことは意義あることと考へて企画しました。ま



酒樽を持って記念写真



サメ加工場を見学

午後からは、ミニシンポジウムを開催し、タイと日本の学生が英語で自分の研究について発表しました。英語で発

た、この視察旅行は、日本とタイのジョイントセミナーとして行いましたので、東京海洋大学の学生も同行しました。

気仙沼(1月29日～1月30日)

朝から新幹線に乗って気仙沼に向かいました。前日、タイから東京に着いた日も積雪があつて、学生達は初めてみる雪に興奮気味でしたが、気仙沼は積雪量も寒さも段違いでした。寒くて歩きにくいのはと心配したのですが、タイの学生達は「外気が冷たい」ということからして、ただ珍しく面白く、という感じで楽しそうでした。この日は、伝統的な製法で日本酒を製造する男山本店を見学し、経験則と科学が融合した現代の酒造りについて学びました。

翌日は、朝6時に集合して魚市場を見学しました。あいにくこの日は主要な水揚げがなかったのですが、停泊中の漁船を見学して、メカジキの延縄漁の説明を聞きました。

続いて、足利本店のサメ加工場と、市場の製氷工場で最新鋭の製氷プラントを見学しました。サメは気仙沼の主要

製品のひとつであり、ヒレと肉はもちろんのこと、内臓や皮までも無駄なく利用しているという説明がありました。製氷工場の倉庫には出来上がった角氷が美しく積まれており、みな記念写真に興じていました。



冷凍サバ工場を見学(石巻)



ミニシンポジウムでの英語による発表



海洋大名物クジラの骨格標本前で記念写真



サバ缶詰工場では試食も

末筆ながら、今回の視察旅行に当たって大きなご助力を頂いた、東京海洋大学三陸サテライトの小山様、小松様、石巻市産業部水産課の富山様に厚くお礼を申し上げます。

我々は今後とも、日本とタイ王国の学生交流を継続していく所存であり、再来年には、またタイの学生を日本に招へいする予定です。その時には、今回のように充実したプログラムが実現できるよう、またSSPに応募させて頂きたいと思っています。

このように、日本の最新の水産技術を知ってもらうというSSP本来の目的に加え、今後につながる二国間の友情を育むことができたということも、今回のプログラムの大きな成果であったと言えるでしょう。

東京にりましたが、日本人学生のほとんどは経費節減のため高速バスで帰京しましたので、仙台でお別れとなりました。この後2日間の東京での実習には日本人学生は参加しない予定でしたので、長いこと別れを惜しみ合っていました。しかし後で聞くと、翌日も夕方からは、日本人学生がタイの学生達を東京を案内して回ったそうです。

表するのが初めてという学生が多く、前日の夜遅くまで準備を頑張っていたという者も居たようですが、その甲斐あって、皆なかなか立派に発表を行っていました。夜は懇親会を開き、気仙沼の海の幸を堪能しながら、学生同士もすっかり打ち解けました。

石巻(1月31日〜2月1日)

朝、気仙沼を出発して石巻に向かいました。漁港では、ちようどタイミングよくサバの水揚げを見学することができ、電子せりの施設も見学しました。放射線測定装置も見学しました。サバのような多獲魚でも全数検査を行い、安全を保障していることに驚嘆するとともに、地震と原発事故が無ければこのような装置も必要なかったかと思うと複雑な気持ちになりました。

次いで見学した盛信冷凍庫の冷凍サバ工場は、大量のサバを自動で整列、選別、箱詰めして凍結まで行う工場で、その規模に圧倒されました。このサバはタイにも多く輸出されているようで、タイの学生達も身近な食品が見学していました。魚市場に敷設のフィッシュミール工場と排水処理場を見学し、ゼロエミッションについても学びました。

翌日は、石巻水産総合振興センターで石巻の漁業全般についての説明を聞き、最後は木の屋石巻水産のサバ缶詰工場を見学しました。試食もさせて頂き、雪遊びに興じる学生も居ました。

二国間の友情を育むことも  
夕方、新幹線で東京に戻りましたが、